

報 告 書

開 催 日 時	令和4年11月24日(木) 19時00分 ~ 20時20分		
自治協議会名	山田地域住民自治協議会	開 催 場 所	山田地区市民センター
出 席 議 員	百上真奈、濱瀬達雄、桃井弘子 (傍聴) 福岡正康		
	班 長	百上 真奈	記録・報告者 百上 真奈
参 加 人 数	14 名		

【主な意見・提言等】

<同時選挙について>

- ・同時選挙にした方が経費削減になる。
- ・同時にした方が、政治に関心が高まる。
- ・市長選挙に出た人が市議会議員選挙に出ることはなくなる。

→賛成意見が多い。

<山田地域の活性化について>

- ・山田地域から公民館、図書室など公的機関がなくなり、行政機関は本庁に一本化される計画だが、山田地域に公的機関があれば活性化になるのではないか。
- ・行政機関の一極集中は人口も一極集中になり、周辺地域は過疎化が進む。
- ・山田地域は団地人口が3分の1を占めているが、団地の人口が増える一方で在所は出ていくばかりで空き家が増えている。これからは、外国人を増やすことが市にとって必要になる。
- ・明石市は10年間人口が増え続けているが、市民が市長になんでも言えるしくみを作っている。伊賀市も市長も出向いて来るべきである。
- ・大山田地域は過疎地域に指定され、元利償還金の70%が交付税算入される過疎債がソフト事業にも使えるようになった。過疎債は一般財源に入れてプールするという市の説明があったが、自治協と共に考えながら、過疎化を防ぐためのソフト事業に使ってほしい。
- ・過疎債は高齢者に対する福祉施策に使ってほしい。
- ・行政バスは、合併前のエリアのみになっているので不便。旧エリアを越えて三重交通の高速バスや新堂駅などにつなげるなど、大胆な運行を考えてほしい。
- ・行政機関を集中させるのなら、周辺地域からも行ける交通網にしっかりと整備してほしい。
- ・農業を担う中核農家もいつまでできるかわからない。農業の持続化のためにも農業公社への手厚い補助をお願いしたい。
- ・大山田地域で人が集まってくる交流の場、拠点づくりをしてほしい。
- ・防災行政無線が廃止されるが、各家の戸別受信機は市のものなので、支所か地区市民センターに持ってほしいという対応が気になった。

伊賀市議会議長 様

令和4年12月14日

上記のとおり、地域意見交換会の概要について報告いたします。

令和4年度地域意見交換会 4 班

班長 百上 真奈
